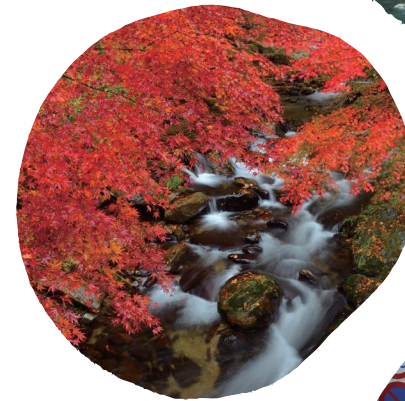


北茨城の  
魅力をひもとく  
移住ガイドブック



KITAIBARAKI

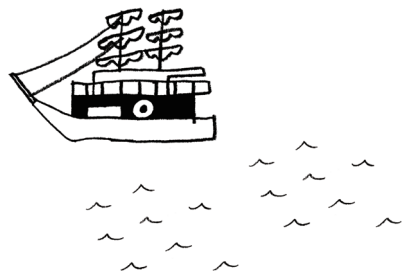
発行月 2019年3月  
発行元 北茨城市役所 企画政策課  
茨城県北茨城市磯原町磯原 1630  
0293-43-1111 (代表)  
資料提供 国立大学法人茨城大学五浦美術文化研究所  
株式会社タニタヘルスリンク  
北茨城市観光協会

北茨城に暮らす

# Index

# 目次

4 北茨城市ってこんなところ！



5 どこに住む？北茨城市の地域ごとの魅力

6 北茨城市の観光・特産品

7 芸術によるまちづくり



8 移住者インタビュー（芸術家 石渡のりおさん）

9 移住者インタビュー（陶芸家 會田恵美さん）

10 移住へのステップ



12 北茨城市で子育て



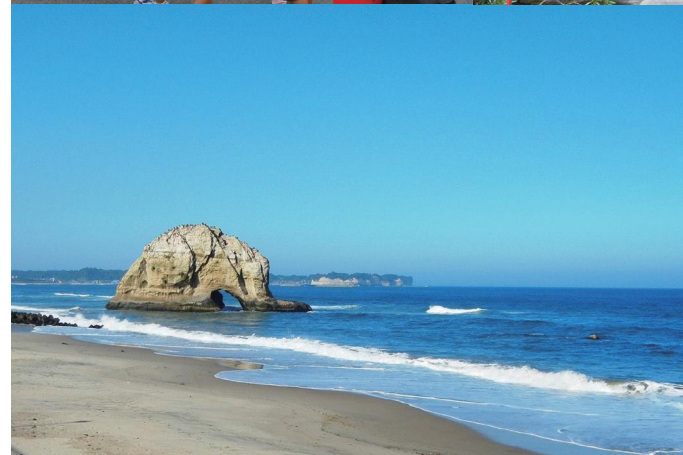
13 北茨城市で働く



14 健康都市づくり



15 北茨城市の注目の事業・制度



北茨城とはどんなまちなのでしょう。

人のあたたかさや海辺の潮風、豊かな森の空気。

訪れたからこそ分かることもあります、訪れただけでは分からないことも。

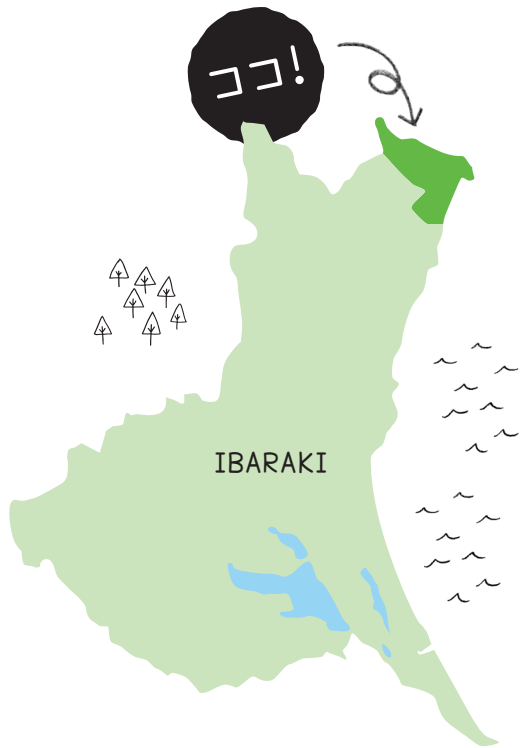
北茨城での暮らしを考えるうえで、ぜひ知っていただきたいことをこの1冊にまとめました。

ここからはじまる北茨城での暮らし。ひとつひとつ、ご紹介します。

# 北茨城市って こんなところ！

# どこに住む？

# 北茨城市の地域ごとの魅力



茨城県の最北端に位置する北茨城市は、岡倉天心や野口雨情など多くの文化人を輩出したまち。雄大な太平洋に面し、新緑・紅葉が美しい「花園渓谷」など、自然に恵まれた風光明媚な地としても有名です。

人口 **42,492人**

世帯数 **16,879世帯**

面積 **186.80km<sup>2</sup>**

※人口および世帯数は2019年1月1日現在

2人合わせて“あんこ”

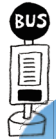


あんちゃん  
北茨城市  
観光ナビゲーター

こうちゃん  
北茨城市  
イメージキャラクター

東京から2時間！

## 北茨城市の交通アクセス



北茨城市は、東京からJR特急利用で約2時間、車で約2時間半という好立地。さらに、「東京」駅や「バスタ新宿」発着の高速バスも多くあります。また、市内には、コミュニティバス(巡回バス)が運行しており、地元住民の交通手段として利用されています。

車なら



**常磐自動車道**  
「三郷IC」から約1時間30分、「北茨城IC」で下車  
**国道6号**  
東京方面から一路北上、水戸市内より北茨城まで約2時間  
**仙台方面から**  
「仙台宮城IC」から約2時間30分、「北茨城IC」で下車

電車なら



**東京方面から**  
「上野」駅からJR常磐線特急にて「磯原」駅まで約2時間

夏涼しく、冬あたたかい  
生活しやすい気候



北茨城市の8月の平均気温は23.4℃で、避暑地・軽井沢より低い日もあります。また、過去10年間で35℃を超える猛暑日は1日ありません。さらに、1月の平均気温は4.5℃。雪はめったに降らず、年間を通して過ごしやすい気候が特徴です。(2018年時点)

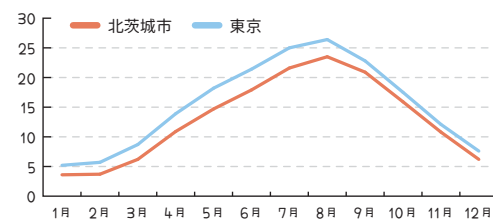
年平均気温  
**13.4℃**

平均降雪日数  
**1日/年**

平均晴天日数  
**236日/年**

出典：統計きたいばらき平成30年版(平成20～29年の数値の平均)

### 北茨城市の月別平均気温(℃)



(1981～2010年の平均値：気象庁HPより)

北茨城市は大きく4つのエリアに分けられ、それぞれに違った魅力があります。あなたが目指すライフスタイルに合った場所をぜひ見つけてください！

## 山側エリア

雄大な自然の中で  
アウトドアライフを満喫

- 「花園渓谷」や「大北渓谷」は紅葉の名所。パワースポットとして人気の「花園神社」も！
- キャンプやBBQ、吹きガラス体験を楽しめる施設も充実。なかには農業体験ができる農家民宿も！
- 芸術活動拠点施設「期待場」があり、豊かな自然の中での創作活動が可能
- 週末観光で多彩なアウトドアを楽しめる



「関本カボチャ」を栽培。町内には小中一貫教育校の「北茨城市立関本小中学校」がある



「花園渓谷」や「花園神社」があり、自然豊か。アウトドア活動も楽しめる

## 北部エリア

海の幸を堪能！  
文化・医療施設も充実

- 「大津漁港」や「平潟漁港」を擁し、海の幸が堪能できる
- 「大津港」駅を中心にスーパー・コンビニなどがあり、生活に便利
- 「勿来バイパス」開通予定。開通により福島への交通利便性もアップ！
- 生涯学習センター「とれふる」、茨城県天心記念五浦美術館、「北茨城市民病院」などの文化・医療施設も充実



「平潟港」があり、新鮮な魚介を堪能できる。温泉がある旅館や民宿も多く、本場の「あんこ鍋」をいただける

岡倉天心が愛でた「五浦海岸」など、観光地としても人気。「大津港」は県内屈指の漁港！

市民の安全・安心を守る市民病院があると共に、海産物店やコンビニ、ホームセンターが点在

## 中部エリア

交通アクセスが便利！  
子育てにもおすすめ

- 「磯原」駅や「北茨城IC」を擁し、駅周辺にはスーパーやコンビニが充実
- 磯原生まれの童謡詩人・野口雨情の生家や記念館、「ニツ島」などの見どころが点在
- 子育て支援住宅、大型公園、保育園や診療所が整う
- 工業団地が2ヶ所。整備された住宅地もあり、職住近接の生活が可能



「野口雨情記念館」や「ニツ島」がある。さらに、「北茨城市役所」や「磯原地区公園」もあり、市の中心となっている

## 南部エリア

憧れの職住近接が実現  
シルバー世代にも安心なまち

- 「南中郷」駅を擁し、市内で随一の商業施設が立ち並び
- 市内最大の工業団地があり、高萩市の工業団地とも隣接し、雇用の場が充実
- 農地が多く、農業が盛ん！
- 「家庭医療センター」や「コミュニティケア総合センター(元気ステーション)」が在宅医療を推進。高齢者や子育て世帯に配慮した地域優良賃貸住宅も！



閑静な住宅地がある一方、スーパーや電器店など市内で最も商業施設が密集している通りがある

# 北茨城市の観光・特産品

朱色の「六角堂」が映える青い海、秋には紅葉が美しい「花園溪谷」をはじめ、北茨城市には全国からもファンが訪れる観光名所がたくさんあります。今回はその一部をご紹介します！

## 北茨城市の観光名所



華川町 花園神社

大杉、高野槇の老木が立ち並び、木々の緑に朱塗りの仁王門、拝殿、本殿が映える様は荘厳。パワースポットとしても知られています。



華川町 花園溪谷

春のシャクナゲや初夏の新緑、秋の紅葉と、四季を通じて景色を楽しめます。特に花園川をはさんだカエドやヤマモミジの紅葉は絶景です。



大津町 五浦海岸・六角堂

大小5つの入江が連なり、高さ50mの断崖絶壁が続く「五浦海岸」。「日本の渚100選」や「日本の音風景100選」にも選ばれています。また、岡倉天心設計の「六角堂」は「観瀾亭」とも呼ばれ、市を代表する観光名所です。



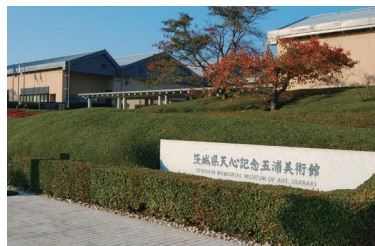
大津町 大津漁港

年間数万トンの漁獲量を誇る県内随一のまきあみ漁港。松ヶ崎の美しい景色が広がり、朝夕の出入船の情景も素晴らしく感じられます。



関南町 北茨城市漁業歴史資料館  
よう・そろー

海の伝統文化や茨城県の漁業などについて学ぶことができます。漁業体験や魚のさばき方教室などの体験ができ、買い物や魚料理も楽しめます。



大津町 茨城県天心記念五浦美術館

岡倉天心や横山大観をはじめ、五浦を愛した作家たちの業績を顕彰するとともに、優れた作品を鑑賞できる美術館として1997(平成9)年に開館。「五浦海岸」の美しい景色を一望できます。

## 歳時記

- 1月 全国あんこうサミット
- 3月 桃源郷芸術祭
- 5月 常陸大津の御船祭(5年に1回)
- 5月 花園のささら
- 8月 大津の盆船流し
- 8月 北茨城市民夏まつり
- 10月 北茨城市ノルディックウォーキング
- 11月 雨情の里 港まつり
- 12月 磯原節大会



大津町の「佐波波地祇神社」で5年に1度、5月2～3日に行われる「常陸大津の御船祭」。国の重要無形民俗文化財にも指定されています。

## 北茨城市の特産品

吹きガラスも体験できる！



花園牛

県北地区で生産される銘柄牛。ここで育った最も格付けの高い最高級和牛を「花園牛」ブランドとして期間限定で販売しています。



どぶろく

2004(平成16)年に関東で初めて「どぶろく特区」に認定。華川町にある3軒の農家民宿で自家製どぶろくを味わえます。

あんこう鍋・どぶ汁

「あんこう鍋」や郷土料理の「どぶ汁」はまさに冬の代表料理。なかでも、水を使わず、あんこうと野菜の水分のみで作る「どぶ汁」は北茨城市オリジナルです！



ガラス製品

「マウントあかね」と併設する「ガラス工房シリカ」ではオリジナルのガラス作品が購入できます。ガラス体験も大人気！



どこまでも広がる青い海、断崖に打ち寄せる白い波、岬に生い茂る松の緑。その美しい風景に魅せられた岡倉天心は、「東洋のバルビゾン」と称して五浦の地に「日本美術院」を置き、ここから新しい美術の創造と世界への発信を行いました。多くの文化人たちが創作活動の拠点として選んだ北茨城市は、現在もかつての美しい景色が人々の心を惹きつけています。

北茨城市ではこうした歴史や芸術的な風土・資源を生かして「芸術によるまちづくり」を展開中。「地域おこし協力隊」とともに、「人」と「芸術」が共存共栄する持続可能な社会を目指して、新しい事業にも意欲的にチャレンジしています。

## 芸術を愛するあなたが北茨城市に住むべき3つのポイント！

「期待場」など芸術の場が充実

最大200万円の補助金制度がある

アートイベントが活発化

廃校となった小学校を活用した「期待場」、古民家を改修したギャラリー&アトリエ「ARIGATEE」など、芸術のための場が次々と誕生。静かな自然の中で創作活動に打ち込み、かつ多くの人に作品を見てもらえる環境が整っています。

茨城県北地域以外から「期待場」のシェアオフィスに入居し、新たに事務所を開設するクリエイティブ企業などを対象に、初年度の入居にかかる費用の1/2(最大100万円)を補助します(県の補助金と併用で最大200万円)。

「地域おこし協力隊」および一緒に地域を盛り上げる仲間を「富士ヶ丘Favoratory」と名付け、2017(平成29)年から様々なプロジェクトを企画・実行。2018(平成30)年から毎年開催されている「桃源郷芸術祭」もそのひとつです。



期待場(きたいば)

北茨城市関南町  
富士ヶ丘756  
TEL:0293-24-7787  
地域おこし協力隊アトリエ  
TEL:0293-46-0362

廃校になった「旧富士ヶ丘小学校」を、「北茨城市生涯学習センター」の分館として整備。「五浦天心焼」の普及を図るため、校舎1階には陶芸講座室・窯室・ろくろ室を設けたほか、芸術家専用のシェアオフィスも開設。2・3階の各教室はアトリエに、体育館はギャラリーに生まれ変わりました。命名は北茨城市出身のアーティスト石井竜也さん。



ARIGATEE

北茨城市関南町  
富士ヶ丘2517  
TEL:0293-24-5231

「地域おこし協力隊」の石渡夫妻がアトリエとして使いながら改修を進めてきた築150年の古民家。2018(平成30)年3月の「桃源郷芸術祭」のときにギャラリー&アトリエとしてオープンし、現在は北茨城市でアート活動をする人の拠点として利用されています。「ARIGATEE(ありがてえ)」という名前は感謝の意味と、もともとは「有賀さん」の家だったことに由来。

## 「地域おこし協力隊」が活躍中！



石渡のりお・ちふみさん

山と海が近くにある自然と共に暮らせる北茨城市は、創作に没頭できる地域です。



都築響子さん

北茨城市は自然豊かで芸術活動への支援も多く、アーティストにとってとても住みやすいまちですよ。



成川夢子さん

神戸芸大を卒業後、北茨城市の「芸術によるまちづくり」に興味を持ち北茨城市に移住！

## 桃源郷芸術祭



「地域おこし協力隊」のプロデュースにより2018(平成30)年から始まった、北茨城市の新しいアートイベントです。海と山に囲まれた自然豊かな北茨城市を、陶淵明が描いた理想郷「桃源郷」になぞらえ、「期待場」など市内各所の会場で開催されます。作品の展示販売のほか、ワークショップなどの多彩な催しが行われています。

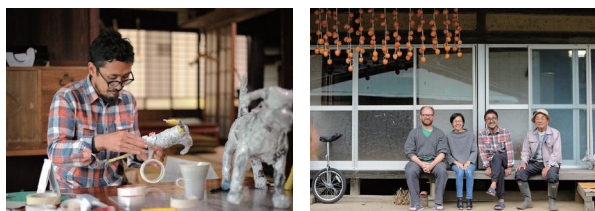
## 北茨城から 「生きる芸術」を発信する



Profile

### 石渡のりおさん 芸術家

夫婦で結成したアートユニット「檻之汰鷺(おりのたわし)」のリーダー。紙を切って貼るコラージュ技法を発展させた作品を制作。海外で作品を発表した後、日本国内の空き家を転々とし、日本人の暮らしを調査。空き家や古民家の再生も手掛けている。現在、北茨城市を拠点に「生きる芸術」をテーマに活動中。



### 北茨城に住みながら、芸術で食べ続けていきたい

僕はここに来て自然がすごく好きになったので、これからはずっと自然をモチーフにした絵を描いていきたいです。自然をなにか別のものに変えていくのがアートの原点だと思いますし。そのためにはまず、「マーケット」を作るのが課題です。芸術も野菜と同じように、流通の仕組みを作って必要としているところに届けて商売していく。芸術を生活と切り離すのではなく、「売る」という行為で生活の延長線上に置いていけたらと思っています。

### 震災をきっかけに会社員から“引退”

結婚当初、二人とも平日は他の仕事をしながら週末に作品を作るという生活をしていました。そんな時に東日本大震災が起きたんです。被災地の様子を目の当たりにしながら東京で暮らしていると、次第に自分の生活にもややとした違和感を覚えるようになりました。週末だけの創作活動を本格的にやりながら、自分の責任の範囲内でもっと取捨選択して生きていけば、より自分自身が納得できる生活ができるのではないかと。災害で世の中が壊れてしまうこともあるのだから、やりたいようにやるのも選択肢のひとつじゃないかという結論に達し、会社を辞めることにしました。

### 不便さはクリエイティブの力になる

ここは“自分のベース”が作れる場所なんです。誘惑を断ち切って、自分が集中できる時間をちゃんと持つことができます。“モノが手に入りにくい”っていうのも実はメリット。赤色の絵の具がなくてすぐ買えないときは「青でもいいじゃん」って思えるんです。今ある環境にインスパイアされてものを作るのが、僕たちの基本的なスタイルですから。ここに来て創作活動の範囲がすごく広がりましたね。それでもって東京との行き来も負担がない。とてもバランスがいいんです。

## 子どもたちに 地元の魅力を 広めたい

### 思い立ったが吉日。北海道から茨城へ

北海道では知人の馬小屋だった建物を借りて工房と窯を作り、趣味で陶芸をしていました。ただある時、「もっと本気で挑戦したい」と思い、その1年後につてをたどって笠間で修業をさせていただくことになりました。「3年やって先生に認められなかったら趣味のままにしよう、そのかわり3年間はがむしゃらに」と決意。その結果、独立することになりました。しかし、笠間にはすでにたくさん作家がいたんです。新しい土地でスタートしたいと思っていた時に、笠間の指導所にたまたま「天心焼の作家求む」という募集を発見。そこで迷いなく移住しました。

### “人情村”の暮らしと仕事

ここは“人情村”なんです。集落の方は、わが子のように迎えてくれて、初釜の時には集落の皆さんがお祭りのようにお赤飯を炊いてくれたり、お餅についてお祝いしてくれました。

仕事面では、移住当初から消防署の出初式の粗品制作や市からもいろんな仕事をもらっていました。北茨城は最近では「期待場」もできて、市民陶芸教室を開く機会も増えています。今は「地域おこし協力隊」もありますし、「天心焼研究会」のチームワークもとてもいいです。もちろん作家として個々で活動はしますが、つながりの中で楽しく活動できると思います。



Profile

### 會田恵美(あいだえみ)さん 陶芸家

北海道出身。焼き物の販売会社に勤めるかたわら、自ら工房と窯を作り、趣味で陶芸を始める。37歳の時に陶芸家を志し、笠間の窯元で3年間修行。独立後、北茨城市へ移住し、「天心焼研究会」の初期メンバーの一人に。現在はお地蔵さんなどのほっこりした作品の制作を行うほか、市内の学校で講師として陶芸を教えるなど幅広く活動している。



### 新しい未来をみんなで創る

市内の「郷英高校」で非常勤講師として陶芸の授業を担当させてもらっています。それ以外にも依頼があれば小学校や幼稚園でも教えています。これからも、子どもたちにはもっと地元のものやその魅力を知ってもらいたいです。そういう活動以外にも「桃源郷芸術祭」のように、様々な“体験”ができるイベントもやってみたいですね。アイディアはたくさんあるので、同じ方向を向いて一緒に形にしてくれる人が来てくれるととても嬉しいです。

### Pickup

#### ①北茨城市の「地域おこし協力隊」とは？

北茨城市では、「芸術によるまちづくり」の担い手として、アーティスト枠とコーディネーター枠からなる「地域おこし協力隊」を委嘱しています。アーティスト枠は主に創作活動を、コーディネーター枠はアートを活用したイベントの企画・運営を行います。

#### ●募集について

常時募集しているわけではありません。募集対象や人数などについては、市のHPや「ニッポン移住・交流ナビ JOIN」のHPをご確認ください。



JOIN HP

詳しくは p.7 へ

#### ②北茨城市のアート情報はこちら！



KITAIBARAKI ART CITY



#### ③移住を検討するときは、「お試し居住」もチェック！

里山にある一軒家で15日以上3ヶ月以内の居住体験ができます。

#### ●応募条件

北茨城市外在住で、市内への移住を検討されている方

#### ●利用までの流れ

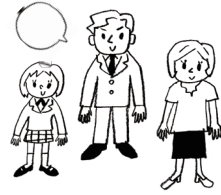
使用申込書の提出 → 審査 → 使用承諾・賃貸借契約 → 「お試し居住」開始！



詳しくは p.11 へ



人生においてひとつの大きな決断となる「移住」。思いつきや勢いだけで行動するのはNGです。「こんなはずじゃなかった!」とならないためにも、移住後の暮らしを十分にイメージしながら、しっかり計画を立てて進めましょう。



### STEP 1 移住の目的をはっきりさせる

まずは「何のために移住するのか」「移住してどんな暮らしがしたいのか」を明確に。「自然の中でのびのび子育てをしたい」「農業をやりたい」「老後は静かな土地で暮らしたい」など理由は人それぞれ。移住を成功させるためには、自分なりの目的をしっかりと持つことが大切です。

### STEP 2 家族やパートナーと話し合う

大切な人とよく話し合い、共通の理解を持っておくこと。それぞれの意見を聞きながら、移住先や時期も含めて「みんなが幸せになれる移住」を考えていきましょう。自分では気づかなかった新しいアイデアがひらめくことも!

### STEP 3 移住候補エリアの情報を集める

観光とは違い、そこで暮らすとなると、日常生活の利便性、子育て・教育、医療などの生活環境が気になります。インターネットや各所で行われる「移住セミナー」なども要チェック。先輩移住者の体験談も参考にします。

### STEP 4 移住先での生活を体験してみる

実際に現地を訪れて生活を少し体験してみると、移住後の暮らしをより実感できます。できれば季節ごとに足を運んでみましょう。移住体験ツアーや農業体験なども有効に活用したいもの。北茨城市では「お試し居住」も実施しています。

### STEP 5 住まいや仕事をさがす

まずは、新生活の拠点となる住まいを確保しましょう。市内の空き家が探せる「空き家バンク」もぜひご利用を。同時に、移住後の仕事もさがしておきたいところ。先に移住する場合は、就職先がなかなか決まらない事態に備えて当面の生活費を用意しておきましょう。

### STEP 6 新生活スタート!

いよいよ北茨城市での新生活がスタート。引越しを済ませたら、ご近所さんやこれからお世話になる方々へ挨拶を。新しい暮らしの中で、心強い支えになってくれるはず。慣れないうちは思い通りにいかず、苦勞することもあると思いますが、焦る必要はありません。少しずつ、ゆっくりと、新しい暮らしを楽しみましょう。



## 移住相談窓口を活用しよう

北茨城市では住まいや就職など移住に関するお悩みに対応する窓口を設置し、「お試し居住」を整備するなど、移住・地域居住希望者のサポート体制を充実させています。また、東京の「有楽町」駅前にある「いばらき暮らしサポートセンター」でも移住全般の相談に対応。漠然と移住を考えている段階でも、気軽にご相談ください。

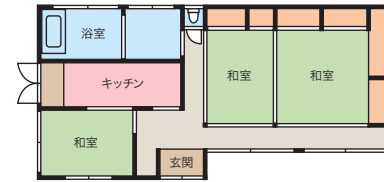


#### ●北茨城市 企画政策課

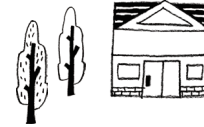
所在地:茨城県北茨城市磯原町磯原1630  
TEL:0293-43-1111(内線232)  
時間:平日8:30~17:15

#### ●いばらき暮らしサポートセンター

所在地:東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館8階  
TEL:080-9552-5333  
時間:10:00~18:00 ※月曜、第2・4日曜、第1・3水曜、祝日はお休み



DATA 所在地:北茨城市華町花園340-2  
延床面積:83.84㎡  
構造:木造平屋瓦葺  
市街地より車で約25分。車が必須です  
お問合せ:北茨城市 企画政策課  
0293-43-1111(内線232)



#### 「お試し居住」 利用者の声

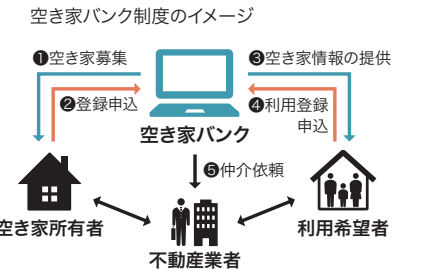
北茨城市では移住を考えている方を対象に、最長3ヵ月滞在できる「お試し居住」を実施しています。移住に向けて「環境を知りたい」「家を探したい」「仕事を見つけたい」というときはぜひご利用ください。費用は月1万円の光熱水費相当額のみ。住宅の使用料は無料で、生活に必要な家具や電化製品もそろっています。



- 家財道具のほか、光回線のインターネットがひかれていて無線LAN環境ができていてとても便利です。(40代男性)
- 夜空の星には圧倒されました。私たちの住んでいるところでは決して見ることができない夜空です。(60代男性)
- 1泊旅行ではとても味わえない体験、スポットを数々知ることができました。(60代男性)
- この自然環境はすばらしく、都会での生活に疲れ果てた私には最高のリフレッシュになりました。(40代男性)
- 庭先に溪流のある生活は面白かった。(70代男性)
- この3ヶ月間でいろんな出会いがありました。この時期に来なければ出会えなかった方もたくさんいると思います。(20代女性)
- 「夏の最高気温が低い町」であることを十分に体感することができました。(70代男性)



「空き家バンク」は、空き家の持ち主と、空き家を利用したい移住希望者をつなぐシステム。利用登録をすれば、市からスムーズに情報を受け取ることができます。幅広い情報収集なら、地元の不動産業者もおすすめ。茨城県宅地建物取引業協会のサイトでも物件検索ができます。



北茨城市では、市内に住宅を取得する人または所有住宅の改修をする人に「定住促進奨励金」を交付しています。「契約時点で満50歳未満」「奨励金交付申請時点で市内に住民登録がある」「居住用部分の延床面積が50㎡以上280㎡以下」などの適用条件をチェックしてみましょう(現時点では2020年3月31日までの制度)。さらに、定住促進奨励金の交付対象者は、住宅ローンを組む際に金利優遇措置を受けられることがあります。

#### ●住宅取得奨励金

住宅の取得費の5/100(上限10万円)を交付(子育て世帯、同居・同居加算あり)

#### ●同居住宅改修奨励金

自己名義の住宅を新たに二親等以内の直系親族と同居するため改修する場合の改修費の1/10(上限30万円)を交付

#### ●空き家改修奨励金

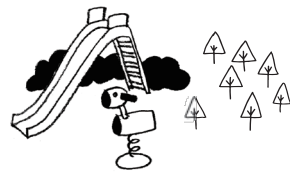
「空き家バンク」を活用して取得した住宅を1年以内に改修する場合、改修費の1/10(上限10万円)を交付

#### ●定住奨励金

対象住宅・土地に対し、新たに固定資産税が課税された年度から2年間固定資産税および都市計画税相当額(上限10万円)を交付



## 北茨城市で子育て

子育て  
支援情報

北茨城市では若い世代が子育てしやすいように、出産前からお子さんが18歳になるまでの各ステージにおいて、多彩な支援制度があります。経済的な負担を減らすとともに、働くお父さん&お母さんを手厚くバックアップ。みんなが笑顔になれる子育てを、さまざまな角度からお手伝いしています。

## 子育て世帯応援商品券

北茨城市で出生された第1子・第2子のお子さんに対し、1人につき1万円分の商品券を贈呈します。  
※商品券と出産祝金の支給には、居住期間等の要件があります。

## 出産祝金

3人目以降のお子さんを出産した方に出産祝金を支給します。(第3子:10万円、第4子:30万円、第5子以降:50万円)

## 放課後児童クラブの充実

就労などの理由により、昼間保護者のいない家庭の児童(小学生)を預かり、学びの場を提供する市内放課後児童クラブを支援しています。(8ヶ所)

## 18歳まで医療費が無料

北茨城市は、県の医療福祉費支給制度の所得制限を撤廃し、対象年齢・対象疾病を拡大。これにより「18歳の誕生日以後の最初の3月31日まで」保険診療分の医療費が自己負担なしで完全無料となります。

## 第2子以降の保育料無料化

【1号認定(教育)】小学3年生までの範囲内に複数のお子さんがある場合や【2・3号認定(保育)】就学前のお子さんが、保育所や認定こども園等に同時に入所している場合に無料となります。

## 病後児保育・休日(祝日)保育

けがや病気の回復期にあり、集団生活が困難な園児・児童を一時的に保育・看護したり、日曜日・祝日において家庭での保育が困難な就学前のお子さんを保育園で預かります。

## 不妊治療費の一部助成

県の不妊治療費補助金の交付決定を受けている方が対象で、助成対象経費から県補助金の交付額を差し引いた額を助成します。(1回の治療につき、上限5万円)

## 子育て支援センターの充実

就学前のお子さんとその保護者が相互に交流できる場所を開設し、育児相談、情報提供、助言などを行っています。(4ヶ所)

## 子育て支援住宅

中学生までのお子さんがある世帯を対象に、民間が持つ子育て世帯向け住宅のノウハウを導入した「子育て支援住宅」を低廉な家賃で提供しています。

▶ほかに支援制度が充実！ くわしくは **子育て一番北茨城** で検索

北茨城市では教育環境の整備にも力を入れています。そのひとつが「子ども議会」。通常議会と同様、市内小中学生から選ばれた議員が市に対して質問を行い、執行部が答弁します。「富士登山体験学習」「ヒロシマで学ぶ平和への旅」などの体験学習も積極的に実施。また、大学との連携により体育の活性化を図るなど、子どもの力を伸ばす取組みも実施中です。

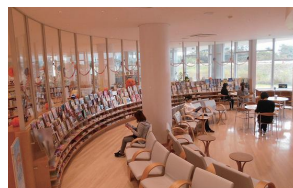
## 教育



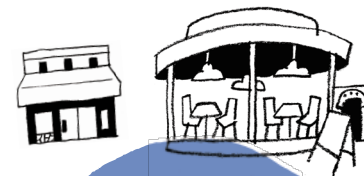
北茨城市の「子ども議会」は模擬議会ではなく本議会。子ども議員の提案を受けて多くのことが実現しています



「富士登山体験学習」では、一歩を踏み出す勇気と努力することの大切さを経験し、人への思いやりの心を養います



2016(平成28)年開館の新図書館では読書意欲を高める試みとして「読書手帳」を導入。1階には居心地のよいカフェも併設

起業・創業  
する

移住後に起業したいという方向けに、北茨城市および市商工会では研修や補助金などの支援制度を用意しています。

## ●創業スクール

創業に必要な経営・財務・人材育成・販路開拓などの知識を身につけ、実際の起業を前提としたビジネスプランも作成します。受講料は無料です。

## ●起業支援事業費補助金

市内で起業する方で、「創業スクール」を受講し、ビジネスプラン審査で優秀だった方を対象に、起業資金の1/2(最大200万円)を補助します。

## ●創業相談窓口

創業全般に関する相談  
北茨城市商工会  
TEL:0293-42-2511

## ●起業支援事業費補助金に関する相談

北茨城市商工観光課  
TEL:0293-43-1111(内線362)

## ●いばらき移住・就職相談センター

都内に設置された唯一の茨城県の仕事相談窓口です。専門知識を持つアドバイザーが、仕事の面から移住をサポートします。

東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館9階  
TEL:03-5212-9088

## ●県北地区就職支援センター(ジョブカフェけんぽく)

茨城県が運営する無料職業紹介所。茨城県での就職をワンストップでサポートします。

茨城県常陸太田市山下町4119(常陸太田合同庁舎内)  
TEL:0294-80-3366

## ●いばらき地域しごと支援センター

茨城県内の仕事や移住に関する情報がそろっています。移住希望者の個別相談や現地案内にも対応してくれます。

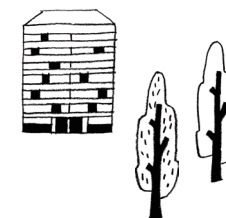
茨城県水戸市三の丸1-7-41 いばらき就職・生活総合支援センター内  
TEL:029-233-1601(直通)

## ●ハローワーク高萩

茨城県高萩市本町4-8-5 TEL:0293-22-2549



いばらき移住・就職相談センター

就職先を  
さがす

工業団地が4ヶ所ある北茨城市では製造業に従事する人が最も多く、サービス業など第3次産業の就業人口は人口規模に対し、比較的少ないのが特徴です。

就農  
する

北茨城市を含む県北地域では、米や野菜のほか、「花園牛」などブランド牛の生産も行われています。

## ●茨城県新規就農相談センター

就農相談員が茨城県で就農を希望する人の相談に対応しています。(※要事前予約)  
また月2回、「有楽町」駅前の「いばらき暮らしサポートセンター」内で「定期就農相談会in東京」を開催しています。

茨城県農林振興公社 担い手支援部  
TEL:029-239-7131

## ●新規就農総合支援事業給付金

45歳未満の就農意欲のある人に対し、年間150万円を最長5年間支援する事業です。

北茨城市 農林水産課  
TEL:0293-43-1111(内線383)

## ●茨城県農業会議

農業を始めたい人、農業法人に就職したい人の相談に対応しています。

茨城県水戸市笠原町978-26  
茨城県市町村会館内  
TEL:029-301-1236



# 健康都市づくり



## 健康づくりを支援

北茨城市では誰もが安心して暮らせるまちを目指し、「健康都市づくり」を推進しています。2018(平成30)年4月には、「北茨城市生涯学習センター(とれふる)」を開設。講座室・創作活動室・調理実習室・和室などを備えた「学習館」と、低料金で健康増進トレーニングができる「健康館」を活用できます。

また、株式会社タニタヘルスリンクとの連携も北茨城市ならではの。タニタの管理栄養士が行う、市内飲食店のヘルシーメニューの監修や、健(検)診受診・体重改善・運動等に応じてポイントを付与し、記念品と交換できる「健康ポイント事業」などを実施中です。

さらに、「北茨城市コミュニティケア総合センター(元気ステーション)」では、健康・医療・福祉に関する総合相談なども行っています。



「北茨城市生涯学習センター」は「多彩な学び」と「健康増進」の場であるほか、「災害時における北部地域の防災拠点」の機能もあわせ持っています



タニタ監修のヘルシーメニューはカロリー500kcal前後、塩分3g前後となっています。

## 充実の医療体制



北茨城市内には病院が3カ所、診療所が20カ所あります。その中核を担っているのが、2014(平成26)年に関南町に新しく完成した「北茨城市民病院」です。診療科目13科の総合病院で病床数は183床。良質な医療の提供のほか、市内に不足していた療養病床を新設するなど地域に即した医療を目指し、市民の健康を守っています。

さらに2015(平成27)年にはその附属施設として、一般外来に加えて、在宅医療や家庭医の育成を担う「家庭医療センター」を開設。医師が自宅を訪問して健康管理をしてくれるので、通院が困難な方でも安心して医療を受けられます。

温暖で暮らしやすく、心身ともに健康でいられる地域づくりが進む北茨城市。いざというときの医療体制も充実しており、自然豊かな場所で新たな人生を楽しみたいと考えているシニアの方々にもおすすめです。



県北地域の中核病院として期待される「北茨城市民病院」。病室の窓からは豊かな自然が望めます



中郷町にある「家庭医療センター」。「筑波大学」と協力して家庭医の養成も行っています

まだまだある!

# 北茨城市の注目の事業・制度

## 災害につよいまちづくり

北茨城市では、津波避難タワーや高台避難公園、防災井戸、備蓄倉庫を整備するほか、自治体や企業と協定を結んで災害時の応援体制を整えています。また、防災無線の内容やJアラート(全国瞬時警報システム)からの情報を配信するサービスも実施。(担当:総務課)

## 安心を生む 高齢者の生活支援

介護保険サービスとは別に様々な高齢者支援サービスを提供。リハビリ教室に参加する際のタクシー代を援助する「外出支援サービス事業」、独居の高齢者に食事を提供して安否確認をする「配食サービス事業」、緊急事態が起きたときにボタンを押しただけで消防本部につながる「緊急通報体制等整備事業」などもあります。(担当:高齢福祉課)

## 住まいに関する 各種助成

自宅を市内の施工業者によってリフォーム等を行う場合、価格の10%(最大10万円)を助成する制度があります。 ※3年以上継続してその住宅に住んでいること等の条件あり。(担当:商工観光課) ほかにも、所有住宅に太陽光発電システムを新規設置する場合に1kWあたり3万円(上限10万円)を補助する制度などもあります。(担当:生活環境課)

制度やイベントなどの詳しい条件については担当課までお問い合わせください。

## 余暇を楽しむ! 各種イベントの開催

「北茨城市立図書館」の前を流れる大北川は、野鳥の宝庫。立地を生かして「図書館パードウォッチングの会」を開催。また、生涯学習課でも多様な講座やスポーツ大会などを開催しています。さらに「磯原地区公園」にテニスコート16面が完成。学びにスポーツにと、余暇を楽しむ環境が整っています。(担当:図書館・生涯学習課)

## 北茨城市公式アプリ 「きたいばナビ」

市民のみなさんに身近な情報を提供するスマートフォン用アプリ「きたいばナビ」。特に子育て支援制度のお知らせや、「妊産婦健康管理」「予防接種スケジュール管理」など出産・子育て関連機能を充実。さらに「北茨城市ごみ分別アプリ」の機能も使えます。(担当:まちづくり協働課)



きたいばナビ

